

取扱いの趣旨

抜歯手術後に日をおいて歯槽骨整形手術を行うことはあり得ることから、「P e r→歯槽骨鋭縁」で、同一部位に対して同月内に日を異にして実施された抜歯手術と歯槽骨整形手術の算定は原則として認められる。

支払基金が公表している取扱いの全文

【手術】 《平成24年2月27日》

17 歯槽骨整形手術

○ 取扱い

原則として、「P e r→歯槽骨鋭縁」の移行病名において、同月内に日を異にして実施された抜歯手術と同一部位の歯槽骨整形手術の算定を認める。

○ 取扱いを定めた理由

抜歯手術後に、日をおいて歯槽骨整形手術を行うことは歯科医学的にあり得ることから、日を異にした場合のそれぞれの算定は認められる。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

抜歯手術と歯槽骨整形手術を算定しているレセプト1万件当たり、条件（P e r→歯槽骨鋭縁に対して歯槽骨整形手術の前日以前に抜歯手術を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、歯槽骨整形手術が査定・
返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

| | | | |
|------------|------------|----|----------|
| 請求どおり | | | : 取扱いどおり |
| 査定 審査委員 | 査定 職員契機 | 返戻 | : 検証が必要 |

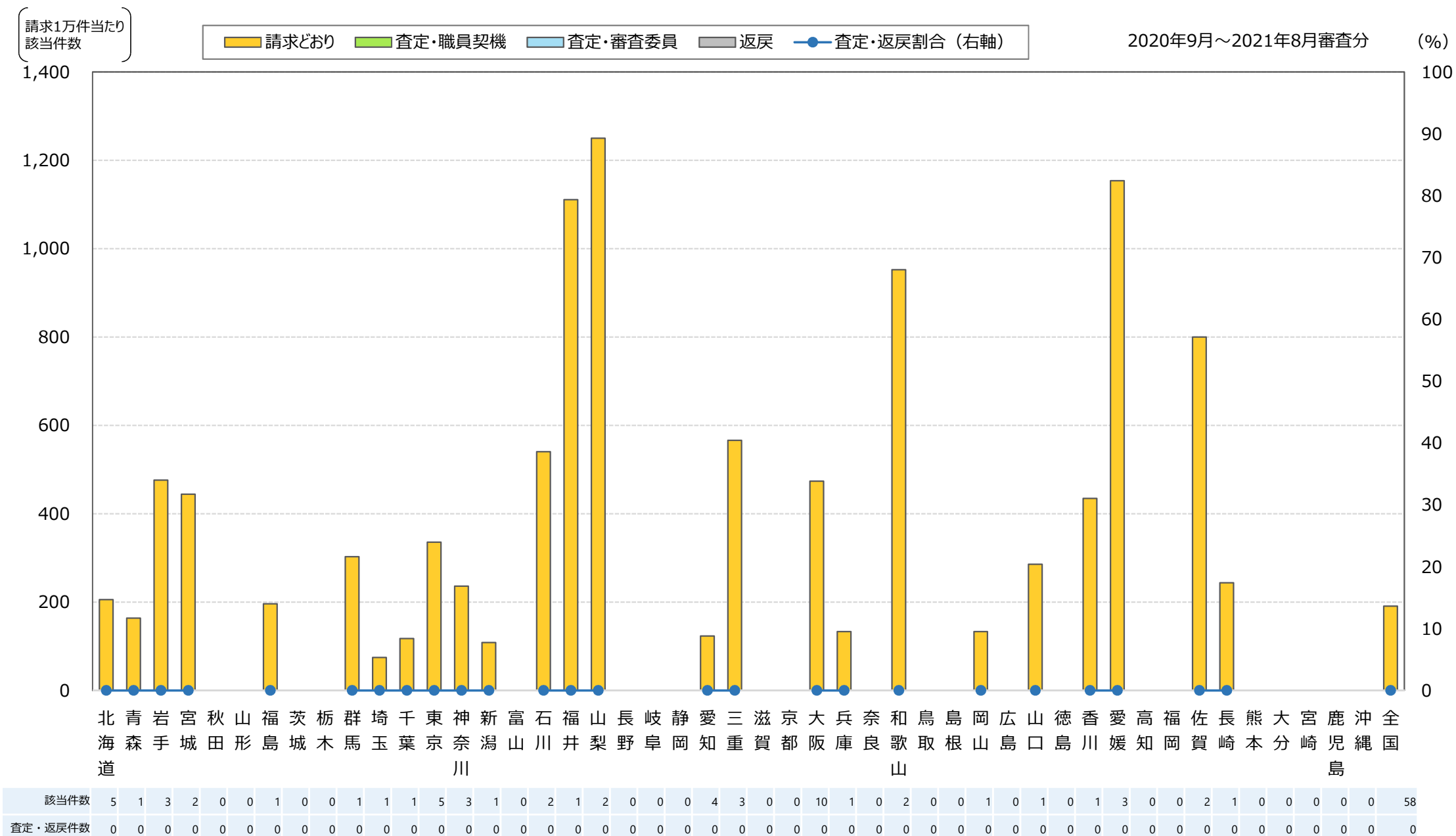
審査結果の概要

➤ 該当レセプトはすべて取扱いに基づく審査が行われている。

| 検証観点 | 特に検証を要する支部 | 備考 |
|--------------|-------------------------------------|-----|
| 査定・返戻割合が高い支部 | — | |
| 査定・職員契機 | — | |
| 査定・審査委員 | — | |
| 返戻 | — | |
| 該当件数（全国） | P e r→歯槽骨鋭縁に対して歯槽骨整形手術の前日以前に抜歯手術を算定 | 58件 |
| 取扱いに基づく審査 | 請求どおり | 58件 |
| 検証を必要とする審査 | 査定・返戻の計 | 0件 |

事例17 「P e r→歯槽骨鋭縁」に対する抜歯手術と歯槽骨整形手術の取扱い

【認める事例】



【該当件数】 P e r→歯槽骨鋭縁に対して歯槽骨整形手術の前日以前に抜歯手術を算定しているレセプト件数